

せいざはやみ

# 星座早見コップを作ろう

みなさんは、星座早見盤を使ったことがありますか？

日時に時刻を合わせると、その時刻に見える星が分かるというものです。また、見たい星座がよく見える時刻を探すこともできます。

でも、星座早見盤は、持ち運ぶのにちょっと大きくて大変ですね。「もし、小さくてもよく見える早見盤があると便利だなあ。」と思います。今日は、小さくてもよく分かる星座早見コップを作って、使い方を覚えて帰ろう。

## 材料

- ・紙コップ (小 3オンス) 1個  
中を黒く塗っておく
- ・紙コップ (大 205ml) 2個
- ・虫眼鏡 (プラスチック製 直径20mm)
- ・星座早見シート
- ・ガイド用型紙 目盛り (月日・時刻)
- ・ライト (できれば赤い光のもの)

## 道具

- ・カッター
- ・カッターマット
- ・木工用ボンド
- ・はさみ
- ・両面テープ

## 1 星座早見盤って、どうして1つで1年中使えるのだろう？

・昼間は、星が見えないのはどうしてかな？

星を見つけるときに、星空の地図となるのが、星座早見盤です。

## 2 星座早見コップの作り方

(1) 小さい紙コップに虫眼鏡を取り付ける。

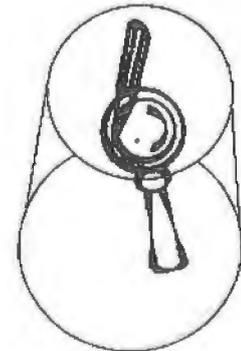
①カップの底に、虫眼鏡を付ける穴をあける。

※中心ではなく、少しずらしカップのふちに近いところにあける。

※虫眼鏡の大きさより一回り小さい大きさにカップを切り取る。

そのときに、虫眼鏡を当てて鉛筆で軽く印を付けて、その円の内側を切るようにすると上手に切ることができる。(図①)

※カッターの刃を目印に沿って少しずつ動かし、丸くあけられるようにする。

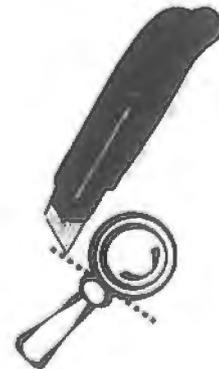


図①

②虫眼鏡の柄を切り取って、①であけた穴に木工用ボンドで貼り付ける。

※虫眼鏡の柄はカッターで2～3回切れ込みを入れ、柄を軽く折るときれいにとれる。(図②)

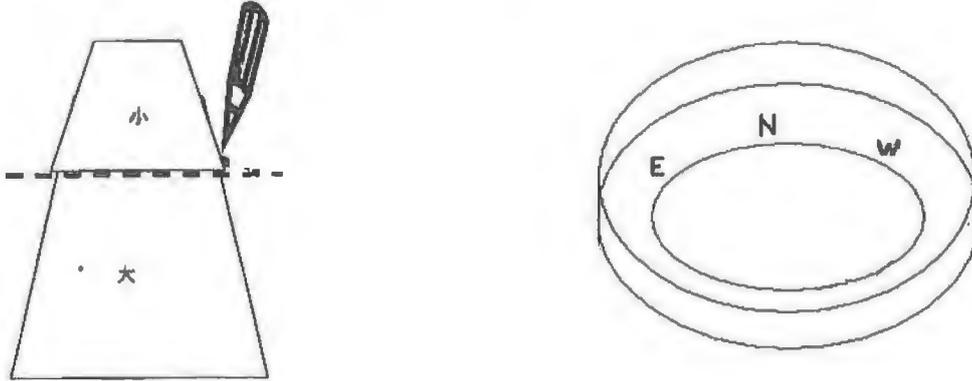
一度に、全部切ろうとすると、危ないので注意をする。



図②

(2) 大きいカップを使い、空ガイドの窓を作り、取り付ける。

- ①小さいカップを、大きいカップに重ね、小さいカップのふちに沿って線を引き、その線で、切り取る。
- ②星空ガイドの型紙を、切り取ったカップの底にあて、ガイドの線に沿って、穴をあけ、中心に近いところに北 (N) を記入し、その左に東 (E)、右に西 (W) を記入しておく。



③レンズの位置と、星空ガイドの切り取った部分と同じ方向に来るように、小さいカップと、空ガイドのカップの底を重ねて止める。

(3) 星座盤を付ける

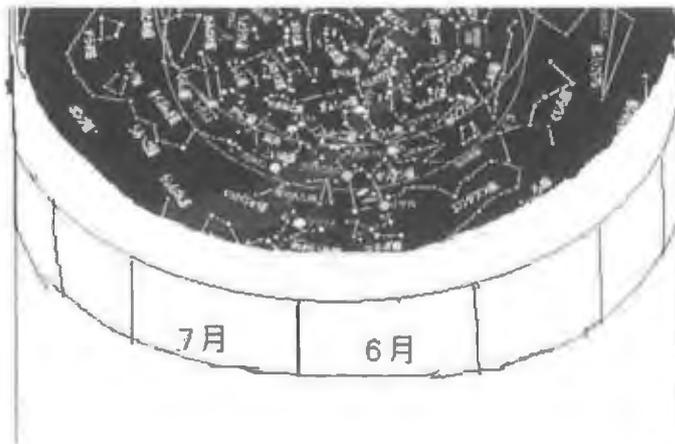
星座盤は、線が入ったものと、入っていないものがあるので、好きなものを選び大きいカップの底に貼り付ける。

(4) 月日の目盛りと、時刻の日付目盛りをカップにはる。

①月日の目盛りは、星座盤のシリウスの位置に、7月1日が来るように貼り付ける。

(このとき、小さいカップが重なる線を引きおき、その線にあわせて貼っていくようにするとよい。)

- ②時刻の目盛り (時間軸) を小さいカップの外側に貼り付ける。  
(北 (N) の印に目盛りの0時があうように貼る。)



### 3 使い方を確認しよう

(1) 時間の軸と日付を今日の夜 (20時) にあわせて、のぞいてみよう。

中に見えている星空が、今夜見えるはずの星空である。

※家に帰って、夜、家の人と一緒に確認してみよう。

(2) 見たい星を出して、いつ頃見えるのかを考えてみよう。

※自分の星占いの星座を見るのにいつがいいのか探してみよう。